

## 第4回 政府の失敗

# 本日のメニュー

- 政治権力のジレンマと政府の失敗
- 市場の失敗としての自然独占と政府
- 政府の失敗
  - モラルハザード
  - 情報コスト
- 政府の介入が生み出す問題
  - レント
- 『政治学』2章2,3

# 政府の失敗

- 政治権力のジレンマ
- 民主的統制
- 民主的政府の失敗
- 本人代理人問題再び

# 自然独占と政府の介入

- 自然独占を生む財
- 排除可能性があり、競合性がない
- マクドナルドと京急の違い
- 限界費用
- 自然独占の問題と資源配分の効率性
  - 独占価格
  - 規模の経済

模擬店A	たこ焼き	
経費	30,000円	
機材	10,000円	
材料	200食 × 100円	
売上げ	40,000円	
	200円 × 200食	
利益	10,000円	

模擬店B	映画鑑賞	
経費	30,000円	
機材	20,000円	
ソフト	10,000円	
売上げ	40,000円	
	200円 × 200人	
利益	10,000円	

追加	
200食	
売上げ	40,000円
利益	20,000円

追加	
200人	
売上げ	40,000円
利益	40,000円



# 電電公社からNTTへ：民営化

- 電話の革命的進化
- 技術革新
  - 半導体革命
- 1985年公衆電気通信法廃止

# 政府の失敗

- モラルハザード

- フリードマン「民間企業は自分の利益のために自分の金を使って行動する。政府は他人の利害のために他人の金を使う。どちらが真剣で、正しい判断をできるかは明らかである」
- 「１トンの釘」を作りなさい

- 情報コスト

- 「計画経済論争」と社会主義経済の失敗
- 市場と組織





# 自然独占再論

- 規制はなくなるか？
  - 携帯電話と固定電話ネットワーク
  - 光回線：NTT　v s　KDDI、Soft Bank
- 自然独占と規制の必要
  - 技術進歩と自然独占
  - 規制は不要になるわけではない
- 規制が生み出す新たな政治

# 政府による規制の生み出す問題

- 規制の必要と規制のパラドックス
- 規制が規制を生む
- 規制とレント
  - レント＝「生産された財・サービスに対して、実際に支払われる価格と支払われるべき価格との差」
- レントと資源配分の効率性
- レント追求 (rent seeking) と政治過程